

# 福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

## ① 第三者評価機関名

NPO法人未来

## ② 施設・事業所情報

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 名称：企業主導型保育所 北クローバー保育園             | 種別：保育所   |
| 代表取締役：山城 伸一<br>園長：青砥 さつき          | 定員（利用人数）：20（19）名   |
| 所在地：鳥取県米子市皆生温泉3丁目2-5              |  |
| TEL：0859-57-4245                  | ホームページ：<br><a href="http://clover-hoikuen.jp">http://clover-hoikuen.jp</a> |
| 【施設・事業所の概要】                       |  |
| 開設年月日：2017年3月1日                   |  |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス |  |
| 職員数                               | 常勤職員： 7 名<br>非常勤職員 3 名   |
| 専門職員                              | 保育士 5 名  |
|                                   | 連携推進員 1 名  |
|                                   | 子育て支援員 1 名   |
| 施設・設備<br>の概要                      | （居室数）3室  |
|                                   | （設備等）空調・床暖房<br>乳児室、保育室、調理・調乳室  |

## ③ 理念・基本方針

### 保育理念

好きなことをもっと好きになれるよう 自分らしさを大切にのびのびと生活する

### 保育方針

- 四季を感じながら、色々な体験をしていきます
- 好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にしていきます
- いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にします

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・子ども主体の保育計画を実施する。
- ・子どもたちひとりひとりの「すき」を見つけて伸ばす保育
- ・肯定的な言葉かけの実践
- ・働きやすい環境づくり

## ⑤第三者評価の受審状況

|               |  |
|---------------|--|
| 評価実施期間        | 令和2年10月19日（契約日） ～<br>令和3年 3月23日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 0 回（ ）                                   |

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

- ①職員は「自分らしさを大切にのびのびと生活する」という理念のもと、子ども一人ひとりを受け止める保育を実践している。子どもとのかかわりを自己評価し、振り返り研修を年1回行い、日々の保育を振り返っている。
- ②職員の子どもへのかかわり方については、コロナ禍においても、折に触れ「わらべ歌」と「ふれあい遊び」に力を入れており、保護者アンケートでも「一人ひとりをよく見ていてくれる」、「とても良い園」など、満足度の高い意見が多い。
- ③ コロナ禍により行事規模の縮小や保護者等の参観を取りやめたりしているが、行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示やDVDにして回覧するなど、情報発信に努めている。
- ④ 園庭は手狭に感じるが、砂場を設けたり、夏季にはプールを設置したり、遊び方を工夫している。
- ⑤ クローバーグループの栄養士が、旬の食材や地元の食材を使って個々の成長にあった献立を、卵と小麦粉を抜いた「除去食」で作成し、食事は自園調理で提供している。
- ⑥ 労務管理について、外部コンサルティングの評価を受け、課題解消に向け取り組んでいる。
- ⑦ 計画的に第三者評価を受審し、保育の質の向上について全職員で取り組んでいる。

### ◇期待できる点

- ①職員一人ひとりの能力を発揮するための労働環境、相談しやすい環境、バランスのとれた配置ができるよう人事制度含め改善を図れるよう取り組んでいる。
- ②今年度、社外監査役（会計士）の選任、外部の監査法人との契約の締結、事業・内部統制・財務等の整備をし、事業の透明化を図っている。
- ③グループウェア（サイボウズ）の導入により、全園と本部を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し業務の効率化を進めている。

### ◇改善を求められる点

- ①事業計画等の職員への周知及び理解の促進に努め、さらに保護者への発信に進めていくよう期待する。
- ②会社組織全体の規模が拡大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入している。人事考課や目標管理等への活用がスムーズに実用化することを期待する。
- ③限られた施設・設備の中で、子ども・保護者・職員にとって、今以上に居心地の良い保

育園となるような創意工夫が期待される。

④地域との連絡会議等の開催、保育園の有する資源の活用、地域と共同での避難訓練の実施など、地域連携を深める取り組みについてさらなる検討が望まれる。

⑤園全体でマニュアル等の見直しをしてはどうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・これからも子どもひとりひとりの姿をしっかりと受けとめ、興味や関心のあることを楽しめる環境を整えるよう努めていきます。

・保育者間で連携をとり合い、またお互いが弱みを補いつつ、強みを高め合える関係性作りにも努めます。

・マニュアルの周知については日頃より気になるところであり、ミーティング等を活用し一つずつ読み進めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

|  |                                   | 第三者評価結果 |
|--|-----------------------------------|---------|
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。  |                                   |         |
| 1  | I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | Ⓐ・b・c   |
| <コメント><br>ホームページや園のしおりに理念・基本方針を示し、また、園の玄関の目に触れるところに掲示し、周知を図っている。保護者に対して、園の行事や保護者アンケートなどその都度園の方針をわかりやすく説明している。職員に対しては、職員研修、ミーティング等で理念・方針の共有およびそれに基づく実践状況を確認し、継続的な取組をしている。 |                                   |         |

I-2 経営状況の把握

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。                           |   |         |
| 2   | I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・Ⓑ・c   |
| <コメント><br>国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料により、具体的に動向 |   |         |

の把握に努めているが、十分とは言えない。役員による定期的な職員面談等により現場の環境把握に努めており、月1回以上の経営会議や取締役会で課題を把握し、分析する機会を作っている。

3 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 a (b)・c

<コメント>

財務会計と内部統制については、今年度、外部の監査法人との監査契約を締結し、組織体制の強化に努めている。外部の会計事務所の協力を得て、内部統制関係の整備をした。職員への周知には至っていない。外部コンサルティングの評価を受け、労務管理上の課題解消に向け取り組んでいる。グループウェア（サイボウズ）導入により、全園と本社を繋ぐ情報共有環境を整備した。また、クラウド型電子契約システムを導入し、業務の効率化に努めている。職員への周知が課題である。

### I-3 事業計画の策定

第三者評価結果

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

4 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 a (b)・c

<コメント>

経営計画についての中期経営計画及び収支計画を策定し、取締役会等により評価するよう努めている。理念や基本方針の実現に向けての中・長期計画は十分とは言えない。

5 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 a (b)・c

<コメント>

単年度事業計画は、新規開設や人材確保、人員配置、園児受け入れ計画を策定し、毎月取締役会、経営会議にて情報共有している。数値目標や事業の成果を設定するなど、具体的に検討してはどうか。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

6 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 a・b (c)

<コメント>

全体の保育計画、月案、週案、個別経過記録などでその都度保育理念や保育目標に基づく評価、反省を行なっているが、事業計画は職員等の参画や、意見の集約・反映が十分ではない。計画を具体的に職員が周知・理解できるよう取組の工夫を期待する。また、事業計画の実施状況が手順に基づいて具体的に評価・見直しできるよう努めてほしい。

7 I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 a・b (c)

<コメント>

ホームページ上には事業計画は示されていない。保護者には年間行事に関する文書を配布している。保護者の参加を促す観点から事業計画についてのさらなる周知・説明の工夫を期待する。

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

|   |  | 第三者評価結果 |
|---|--|---------|
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。  |  |         |
| 8   | I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。              | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>内部評価については、法人による職員個人面談・各園ミーティング・園長会・月齢別研修等の定期開催により意見交換や情報共有を図り、質の向上に努めている。会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入し人事考課や目標管理等に活用していく計画がある。定期的に第三者評価の受審を計画している。全職員で評価にもとづく振り返りや情報共有に努めてほしい。</p> |  |         |
| 9   | I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ミーティング、園内研修等において定期的に課題解決に向けて見直しを行う体制を構築している。より良い状況にしていくため、建設的な意見が出る場に行えるよう今後も継続してほしい。</p>  |  |         |

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

|  |  | 第三者評価結果 |
|--|--|---------|
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。   |  |         |
| 10   | Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長の役割や責任をミーティングで伝えたり、日々話したりしているが、十分に周知が図れていない。園長の役割や責任を文書化するなど、さらなる周知徹底を期待する。</p>     |  |         |
| 11   | Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。     | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法令遵守に関するマニュアルがあり、職員は法令遵守に努めている。今年度はマニュアル研修や見直しができおらず、正しく理解するための取組が十分ではない。</p>         |  |         |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。   |  |         |
| 12   | Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。   | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、保育計画の立案や評価・反省が、子どもの興味を引き出し、発達を促せるものになっているかアドバイスしたり、ミーティング等で職員と一緒に検討するよう努めている。</p> |  |         |
| 13   | Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮        | a (b)・c |

|  |       |  |
|--|-------|--|
|  | している。 |  |
| <p>&lt;コメント&gt; 園長は、保育園の理念や方針に基づき、職員と意識を同じにするよう努めている。経営(人事や労務)の改善へ向けての取組には携わっていないが、経営的視点での業務改善も意識してはどうか。</p> |       |  |

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

|   |  | 第三者評価結果 |
|---|--|---------|
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。   |  |         |
| 14  | Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>法人本部として外部研修へ計画的に参加を促し、その学びを検証する体制をとっている。補助金等を活用しながら、保育士資格等の取得支援など職員のスキルアップにも取り組んでいる。法人で女子サッカークラブを運営しており、当該部及び保育系学科のある大学等にも直接アプローチをし、子育て支援員も含め、人材確保に努めている。</p> |  |         |
| 15  | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。                         | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>職員面談等により意向・意見の吸い上げ等実施しているが、明文化された基準や体系的な評価制度の確立については不十分である。法人全体で職員数が増大しており、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に着手しているところである。</p>                                  |  |         |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。  |  |         |
| 16  | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。       | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>有給休暇の取得状況は法人本部が管理している。出勤簿や休暇届の点検などの勤怠管理、職員の健康管理に配慮したシフト作成等は園長と法人本部が連携し、就業状況や意向の把握に努めている。日ごろから職員が相談しやすいよう工夫し、心身の健康や意向の把握に努め、さらに働きやすい職場づくりに取り組んでほしい。</p>        |  |         |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。  |  |         |
| 17  | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                  | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>定期的に個人面談を実施し、職員の理解度の確認など、保育の質の向上に取り組んでいる。法人の期待する職員像を目指し、職員一人ひとりにふさわしい目標を設定し、達成度の確認ができるような体制が整うことを期待する。</p>  |  |         |
| 18  | Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。  | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p>   |  |         |

|  |  |         |
|--|--|---------|
| 自治体等外部が主催する研修に積極的に参加している。法人内においては、職種別、担当クラス別等に分類し、会議による意見交換や研修を実施している。職員教育・研修に関し、具体的な目標や体系的な計画等、さらに明確な保育所の基本姿勢が期待される。  |  |         |
| 19   | II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                   | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の経験年数、クラスの子どもの姿等を考慮し、本人の希望を確認した上で研修を実施している。研修後は報告書を提出し、園内の伝達研修で共有している。今後は体系的な計画を策定するための評価基準を明文化していくよう検討中である。</p>                              |  |         |
| II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。   |  |         |
| 20   | II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れをマニュアルとして文書化しているが、不十分である。単位取得のみを目的とせず、実際の保育を体感する等保育園グループの理念を共有できるよう努めている。今後、より体系的に学べるようなプログラムを工夫してほしい。</p> |  |         |

### II-3 運営の透明性の確保

|   |   |         |
|---|---|---------|
|   |   | 第三者評価結果 |
| II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。   |   |         |
| 21  | II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園見学や公開保育等を積極的に実施している。SNS等も活用し、園の取り組みに幅広く触れる機会の創出に努めている。行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示など生の情報提供（運動会風景の動画）にも努めている。今年、ホームページをリニューアルした。今後情報公開を行っていく計画があり、事業計画・苦情相談、第三者評価結果など、公表内容を広げてほしい。</p>                       |   |         |
| 22  | II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a (b)・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務、経理、取引等において、法人本部と各園で棲み分けをしている。小口現金管理は各園で行い、消耗品、備品等小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア（サイボウズ）上で稟議をかけるなど、承認経路をスリム化し処理の迅速化を図っている。社外監査役（会計士）を選任し、また外部監査法人と契約を締結し、事業、内部統制、財務等を整備し、内部監査室を設置した。運営状況についての職員の周知を望む。</p> |   |         |

### II-4 地域との交流、地域貢献

|                             |  |         |
|-----------------------------|--|---------|
|                             |  | 第三者評価結果 |
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 |  |         |

|   |   |         |
|---|---|---------|
| 23  | Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。              | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         近隣の観光センターの花の植え替えを子どもが手伝ったり、園外保育の際に交番に立ち寄ったり、地域と交流する機会を設けている。近隣の施設との交流も計画していたが、コロナ禍の理由もあり、実施を延期している。地域に対して保育所への理解を深めるためのさらなる取組が期待される。</p> |   |         |
| 24  | Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。      | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         ボランティア等の受入れに対する登録書類やマニュアルは整備されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。受け入れに関する研修の実施や細かな準備等がすすむこと期待する。</p>  |   |         |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。   |   |         |
| 25  | Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         事案ごとの必要に応じ、連携が必要な機関や団体と相談し、訪問してもらうなどの連携をとってはいるが、定期的な連絡会は行っていない。保育の質の向上のため、福祉事務所や地域の事業所、子育てサロン等との定期的な連絡会などのネットワーク化を積極的に図ることが期待される。</p>    |   |         |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  |   |         |
| 26  | Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。                    | a・b (c) |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         保育所が有する専門的な知識・技術や情報を、地域に開放・提供する取組を行っていない。保育所も地域の一員として、例えば勉強会の開催や相談窓口の設置など、園としてできる範囲での地域とのコミュニケーションを期待する。</p>                             |   |         |
| 27  | Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。          | a・b (c) |
| <p>&lt;コメント&gt;<br/>         地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を行っていない。例えば、地域での離乳食講座や読み聞かせの会など、園の得意とする0歳～2歳児に関する知識や経験をいかせるような事業・活動などの検討を望む。</p>                                   |   |         |

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
|                             | 第三者評価結果 |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 |         |



|   |  |         |
|---|--|---------|
| 28  | Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は「好きなことをもっと好きになれるよう、自分らしさを大切にのびのびと生活する」という理念のもと、定期的に「良くないかわりのチェックシート」を用いて、保育の振り返りを行っている。一部、子どもを尊重した言葉かけや対応が徹底できていない場面がみられることがあり、全職員が常に実践できるようさらなる研鑽に努めている。</p> |  |         |
| 29  | Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。  | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どものプライバシー保護等の権利擁護に関するマニュアルを整備し、配慮した保育に取り組んでいる。施設・設備に関しては、一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしいこちよい環境を提供できるよう、限られた中でのさらなる工夫を望む。</p>   |  |         |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。   |  |         |
| 30  | Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。   | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人のホームページの中で北クローバー保育園の情報や、見学・入園の手続等について掲載している。見学希望があれば随時対応している。園の紹介資料は地域各所への配置は行っていない。</p>   |  |         |
| 31  | Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。     | (a) b・c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の開始時には、入園前面談で園のしおりや重要事項説明書を用いて説明している。評価機関が実施した保護者アンケートでも回答者のほぼ全員から「わかりやすく説明を受けた」と返答があった。</p>   |  |         |
| 32  | Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。    | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所等の変更にあたり情報提供が必要な場合は、保護者の同意を得て行っているが、引継ぎや申し送りの手順、文書の内容は定めていない。保育の継続性に配慮した具体的な対応を期待する。</p>  |  |         |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。   |  |         |
| 33  | Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。   | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は子どもの声を聴きながらの保育や、保護者との定期的な面談等で利用者満足を把握するように努めている。今年度は書面による満足度調査が実施できていない。子どもの満足のさらなる向上のため、調査結果の内容を検討・分析する会議の設置等の取組を期待する。</p>                                   |  |         |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。  |  |         |
| 34  | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。         | a (b) c |

|   |  |         |
|---|--|---------|
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決の体制は整備されているが、保護者等への周知や苦情を出しやすい工夫が十分ではない。意見箱は玄関スペースに配置してある。朝夕の送迎時など、保護者が職員に話しかけやすいような雰囲気づくりに取組んではいるが、開放的な空間のため意見等の述べやすさに関してさらなる工夫を期待する。</p> |  |         |
| 35  | Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。         | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の連絡ノートや送迎時の会話など、配慮しているが、限られたスペースの中での環境の工夫が十分ではない。コロナ禍の今年度は、例年開催している保護者会など対面できるいくつかの事業を中止や縮小して開催しており、保護者からの意見集約についてのさらなる工夫が望まれる。</p>          |  |         |
| 36  | Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。            | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者からの相談や意見に対し、迅速に対応するよう努めているが、日々発生している内容を一元的に集約できるよう検討してはどうか。対応マニュアル等の定期的な見直しと、職員全体の共通理解と実践の取組を期待する。</p>                                      |  |         |
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。   |  |         |
| 37  | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。  | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>安心・安全に関する各種マニュアルの作成や、保育室に具体的な事故例など注意事項を掲示するなど、リスクマネジメント体制は構築されている。様々な事例の収集をし、職員でさらにヒヤリハットを共有することで、大事故につながるリスクを回避できるよう仕組みを検討中である。</p>           |  |         |
| 38  | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症対策マニュアルの作成など体制を整備している。コロナ禍の今年度は「新しい生活様式における取組」という文書を作成し、状況の変化に応じて改訂し、職員に周知徹底している。さらに勉強会や見直し等の定期的な取組を期待する。</p>                               |  |         |
| 39  | Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。           | a (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時の対応体制が定めてあり、様々な想定避難訓練を毎月実施している。災害・緊急時に保育園職員だけでなく、自治会や近隣の力を得ることで、子どもたちをより安全に導けるよう、地域も参加対象とした避難訓練の計画が期待される。</p>                               |  |         |

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

|                                     |  |         |
|-------------------------------------|--|---------|
|                                     |  | 第三者評価結果 |
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 |  |         |

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 40   | Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。    | a) b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育に関わる様々なマニュアルが作成され、項目ごとに閲覧しやすい状態で整備している。保育計画は全体的な計画をもとに、年齢ごとの年間計画、月間計画、週間計画があり、それをもとに個別の計画を作成している。子どもが心地よい環境の中で自分らしさを大切にのびのびと生活できるよう、柔軟な保育を実施している。</p> |  |          |
| 41   | Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。          | a) (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育計画は、期間ごとに評価・反省を行い、職員間で検討しながら、必要に応じ次の計画へ反映している。定期的な見直しの仕組みの検討を期待する。</p>  |  |          |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。  |  |          |
| 42   | Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。             | a) (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども一人ひとりの姿から、子どもと保護者にどのようなニーズがあるかを記録し、保育計画に盛り込むよう努めている。さらに、計画の策定にあたり様々な職種の関係職員や、保育所以外の関係者等が参加して協議するなどの体制を整えることを期待する。</p>                                |  |          |
| 43   | Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。                 | a) (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画の評価を、週・月毎に担当保育者と副主任・主任・園長で行っている。さらに組織の仕組みとして、担当者からの報告ルート、保護者の意向を得る手順、検討会議などのシステムを期待する。</p>  |  |          |
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。   |  |          |
| 44   | Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | a) b・c   |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の実施状況の記録はクラス単位や個別に日々詳細に記録されており、職員間でのコミュニケーションや申し送りノートも用いて情報共有されている。職員ミーティングを毎月開催している。</p>   |  |          |
| 45   | Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                 | a) (b) c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもに関する記録の管理について運営規定に明記している。個人情報保護規定について、職員は本社と秘密保持契約書を交わし厳守している。さらに記録管理に関して、保管方法や情報開示の基本姿勢など、より具体的な体制の確立が期待される。</p>                                    |  |          |

## 福祉サービス第三者評価結果（北クローバー保育園） （内容評価基準—保育所版—）

※すべての評価項目（20項目）のうち該当する18項目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を記入する。

### A-1 保育内容

| 評価項目                           | 第三者評価結果          | 判断理由   |
|--------------------------------|------------------|--|
| A-1-(1) 保育課程の編成                |                  |  |
| 1                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 保育園の運営規定に、提供する保育・教育の内容を明記している。また「経営理念」「保育理念」を入りに掲げ、それに基づき、企業主導型保育事業所として地域に貢献した保育課程を編成している。                                 |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 |                  |  |
| 2                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 室内の温度、湿度、換気等に気を配り、十分子どもが遊ぶことができるよう、コーナー作りに工夫をしている。さらに、迎えが遅くなる子どもが、ゆっくりとくつろげる空間の整備が望まれる。                                    |
| 3                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 保育理念である「好きなことをもっと好きになるよう、自分らしさを大切にのびのびと生活する」に沿った、週間指導計画を作成し、園長は評価反省に目を通し、一人ひとりの子どもの状態に応じた保育を行うよう努力している。                    |
| 4                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 「連絡帳」や送迎時の保護者との情報交換を行い、一人ひとりの子どもの家庭での様子を知り、年齢に応じた関りの中で、遊びを通して基本的生活習慣が身に付くよう工夫している。   |
| 5                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 子どもが遊びたいことを見つけて、興味を持って遊べるよう見守っている。年齢や発達に応じて、友達に興味を持って関わられるよう働きかけている。四季折々の野菜や花を育てたり、小動物に触れる機会が多く持てるよう環境づくりに努めている。           |
| 6                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 床暖房を設置して、居心地の良い環境を整えている。特定の保育者が、愛情豊かに優しく語りかけながら関わっている。家族と連絡を取りながら、健康と安全に気を配り子どもの欲求を汲み取る関りをしている。さらに出来ることを発見しながら目標を立てて関わりたい。 |
| 7                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 子どもが心身ともに心地よいと感じる環境を整え、子ども自身が主体的に育つことを助けて、年齢を見通した興味関心を引き出せるよう、子ども一人ひとりに目を向け関わっている。   |
| 8                              | a・b・c            | 該当なし   |
| 9                              | a・ <b>(b)</b> ・c | 障害のある子どもに対してのスキルアップ研修は受講している。配慮の必要な子どもについて理解を深める検討をしている。   |

|    |   |         |  |
|----|---|---------|--|
| 10 | A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。       | a・(b)・c | 迎えの時間を確認して対応している。夕方遅くなる子どもに対して、補食などの検討をしてはどうか。 |
| 11 | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a・b・c   | 該当なし   |

## A-1-(3) 健康管理

|    |   |         |  |
|----|---|---------|--|
| 12 | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                            | (a)・b・c | 園での子どもの様子を観察し、健康な1日が過ごせるよう心掛けている。昼寝の時間等5分あるいは10分ごとにチェック表を利用して乳幼児突然死症候群に注意し、観察している。     |
| 13 | A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                       | a・(b)・c | 健康診断、歯科検診の結果を記録し、各保護者に周知するとともに、子どもの様子を職員間で共有し、保育に反映させている。「ほげんだより」を毎月発行して、家庭との連絡を行っている。 |
| 14 | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師から指示を受け適切な対応を行っている。 | a・(b)・c | 入園時あるいはその後変化があった場合、医師からの指示書を受取り適切に対応している。職員に対して、アレルギー疾患、慢性疾患等についての技術習得の研修等がまだ行われていない。  |

## A-1-(4) 食事

|    |   |         |  |
|----|---|---------|--|
| 15 | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。          | (a)・b・c | 楽しい食事ができることを第一におき、子どもが食べたいときに声掛けの工夫をしている。食べ物、食べることへの興味が持てるよう、野菜を育てたり旬の食材に触れたりする取り組みを行っている。入口にその日の食事、おやつ等の映像をながし、時には食事の様子も入れて、保護者と共に楽しめるよう工夫している。 |
| 16 | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | (a)・b・c | 子どもに合わせた食事の提供に心掛けている。旬の食材を取り入れた献立で自園調理し、温かい食事、手作りのおやつを提供している。調理点検表や給食日誌を記入して、安全な食事作りをしている。   |

## A-2 子育て支援

| 評価項目              | 第三者評価結果  | 判断理由    |  |
|-------------------|--|---------|--|
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 |  |         |  |
| 17                | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                | a・(b)・c | クラスだよりや園だよりを発行して、園の行事や様子を伝えている。連絡帳等により、家庭との日常的な情報交換を行っている。保育参観、個別面談等を活用して、保護者と連携し子どもの成長を共有できるよう支援している。 |
| A-2-(2) 保護者等の支援   |  |         |  |
| 18                | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                   | a・(b)・c | 保育計画は子ども一人ひとりに合わせて作成されている。連絡帳で家庭での様子、園での様子を共有している。さらに保護者から得た子どもに関する情報や相談内容の共有に努めて欲しい。                  |
| 19                | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a・(b)・c | 保護者や子どもの人権に配慮しながら、予防的対応に努め、虐待等の疑いを発見した時は、関係機関と連携がとれるようにしている。マニュアルは整備しているが、それにもとづく研修が今年度は実施できていない。      |

## A-3 保育の質の向上

| 評価項目   | 第三者評価結果   | 判断理由    |
|--|---|---------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）   |   |         |
| 20   | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a・(b)・c |
| 年1回職員面談を行い、保育士の目標、振り返りを行っている。保育実践の振り返りが保育の実践や改善、専門性の向上に活かせるよう取り組んでほしい。 |   |         |